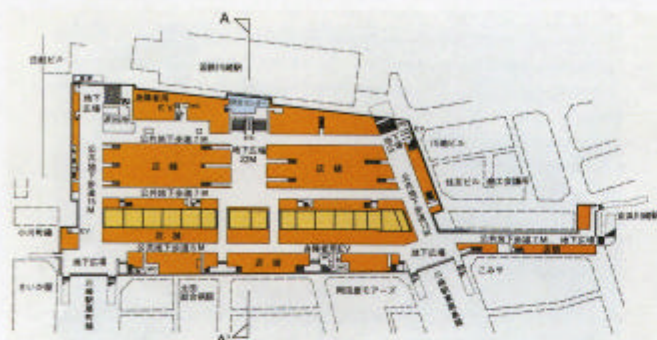


川崎地下街工事 V,E,30 億達成

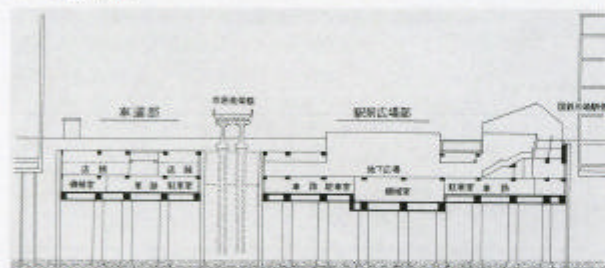
川崎駅前には、京急電鉄が縦断しているが、地下街建設に当たって、川崎駅周辺開発部と、京急電鉄(株)との再三の協議において、京急電鉄としては輸送業が本業であるから、高架橋の下には地下街を造る必要はないとの理由で、高架橋の基礎を連壁で囲み3ヶ所に連絡通路を設け、東西に分離して地下街を造る計画で工事が出件された。そこで、私は貴重な駅前広場の中央部が約 2,400 m²に渡って永久に利用出来なくなることは国家的な損失である事と、工事の技術的な安全性を考えアンダーピニング工法を提案し、反対する各部署と粘り強く交渉して納得させ、V,E,30 億を達成した。

1、当初計画

地下1階平面図

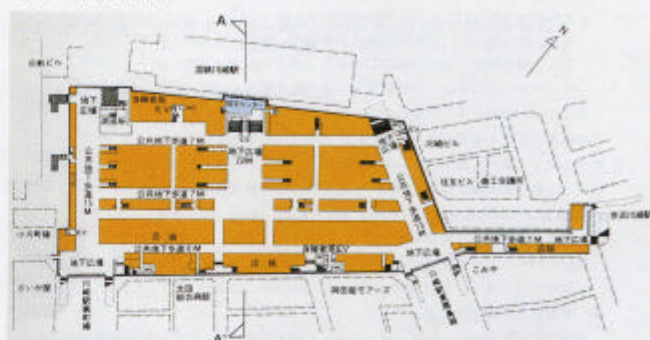


A-A'断面図

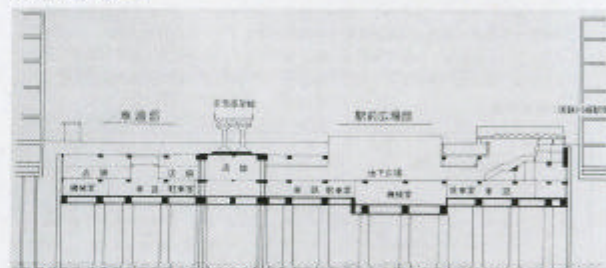


2、V, E, 提案

地下1階平面図



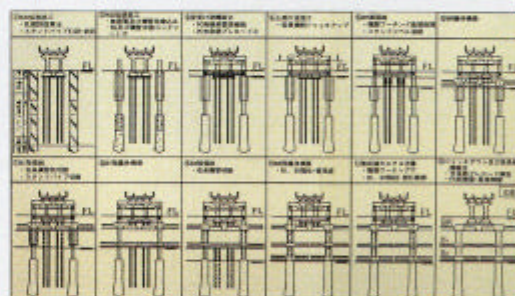
A-A'断面図



工事面積比較表 (VE提案)

名称	当初計画	実績面積	増減	備考
1階 公共地下道	14,100 m ²	15,230 m ²	+1,130 m ²	地下の公共歩道、広場
〃 店舗	10,700 m ²	11,900 m ²	+1,200 m ²	商店街、飲食街
〃 其の他	1,700 m ²	1,700 m ²	0	トイレ 他
小計	26,500 m ²	28,830 m ²	+2,330 m ²	
2階 駐車場	14,300 m ²	15,000 m ²	+700 m ²	車道、駐車場
〃 其の他	9,600 m ²	11,380 m ²	+1,780 m ²	機械、防災、管理室
小計	23,900 m ²	26,380 m ²	+2,480 m ²	
計	50,400 m ²	55,210 m ²	+4,810 m ²	4810 / 55210 ≒ 87%増

土工事は約 320 億であるから単純に有効面積で換算すると、320 × 0.087 ≒ 28 億の増加となり、更に地下街が一体になった便利さ要素等を考慮すると 30 億のVE効果は充分あったものと考えられる。



高架橋アンダーピニング施工順序図



京浜急行高架橋アンダーピニング



地下街躯体および高架橋アンダーピニング模型

会社名	(元)鹿島建設(株)横浜支店 (現)保土ヶ谷工業(株)建設本部
住所	(現)横浜市中区北仲通1-6 tel 045-201-3851 fax 045-212-0928
担当者名	岡村昭三郎 S.24 年土木科卒